セキュリティ・ポリシーの見直しの勘所（基礎編）【会場・オンライン同時開催】(4122250)

本セミナーでは、セキュリティ・ポリシーのサンプルを利用し、例題よりどのように内部アセスメントを実施するか学びます。また、対応策としてセキュリティ製品やツールを導入する場合の用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解します。最終的にセキュリティ・ポリシーをどのように変更し、ツー ル類をどのように導入するかの勘所をつかみます。

開催日時	2022年11月7日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	石橋正彦 氏 （サイバー研究所　所長 ） ベリングポイント（現PwC）においてセキュリティ監査人/ベンチマークに従事。その後、ガートナーにてセキュリティ、BCP/DRのリサーチ業務に従事。ISOの審査員を経て、国内で最もISOを取得した企業（6規格統合運用）に在籍し、効率の良い 内部監査や従業員教育を実施。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を６年に渡り実施。現在ではコンサルファームに所属。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	情報システム部門のＳＥ、コンサルタント 職務：営業/開発/管理部門 レベル：システムエンジニア初級 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
【選べる受講形態】
A. 会場にてご参加：【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】
B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
A. 会場にてご参加：当日配布
B. オンラインにてご参加：開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
特になし

本セミナーでは、セキュリティ・ポリシーのサンプルを利用し、例題よりどのように内部アセスメントを実施するか学びます。
また、対応策としてセキュリティ製品やツールを導入する場合の用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解します。
最終的にセキュリティ・ポリシーをどのように変更し、ツー ル類をどのように導入するかの勘所をつかみます。

■主な内容
第１部　はじめに

・本セミナー受講の前提条件
・セキュリティ・ポリシーの構造と流れ
・セキュリティ・ポリシーのアセスメント／監査の流れ
・セキュリティ製品／サービスの定義

第２部　セキュリティ・ポリシーで指摘を受けやすい部分の見直し

・内部アセスメント／内部監査／外部監査の違い、手法
・取引先からの質問事項とセキュリティ・ポリシーの指摘（例）
・エンドポイント・セキュリティ（アンチウィルス／HDD暗号化）への質問とポリシー反映
・メールに関するセキュリティ製品やサービスへの質問とポリシーへの反映
・誤送信対策や、２ファイル目にパスワードを送付する日本人が好むセキュリティ対策

第３部　委託先から質問を受けやすいIAM（アイデンティティ＆アクセス管理）

・IAM（特権ID管理、WAM）の分類と効果、ポリシーへの反映

・人事システムからディレクトリまでのプロビジョニング、不要IDの削除とポリシーへの反映
・認証連携をしたい相手先へのフェデレーション、SAML/ADFSの有効利用
・一般的な犯罪捜査とIAMの有効性

第４部　サイバー・セキュリティの要素をセキュリティ・ポリシーへ反映させる

・アプリケーション・セキュリティ（脆弱性診断やペネトレーション・テスト）をポリシーに反映
・データ・セキュリティ（暗号化とDRM、トーカナイゼーションやCASB）をポリシーに反映
・SOCは自前かサービスか、責任範囲をどのように定義してポリシーに反映させるか

第５部　今後の内部アセスメントとセキュリティ・ポリシーの維持

・年間監査計画と予算について